

第3学年 「国語」

1 学習の目標

○自分の考えを、目的や場面に応じて話したり聞いたりできるようにしよう。

○自分の考えを、しっかり表現できるようにしよう。

○様々な文章を読んで、内容をしっかりつかめるようにしよう。

【知識・技能】

○社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。

【思考・判断・表現】

○論理的に考える力や深く共感したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

○言葉がもつ価値に気付くとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

2 評価の観点・方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる態度に概念等を理解したり、技能を取得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等) (2)情報の扱い方に関する事項 (情報と情報との関係、情報の整理等) (3)我が国の言語文化に関する事項 (伝統的な言語文化、書写等)	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・定期テスト ・パフォーマンス課題 ・単元テスト	・定期テスト ・パフォーマンス課題 ・単元テスト	・振り返り ・その他の2観点の学習状況

3 学習方法についてのアドバイス

学校	・学習課題を捉え、自分なりの問いをもち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。
家庭	・授業に入る前には、教材文をくり返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。

4 学習計画 (A:知識・技能 B:思考・判断・表現)

	各単元と主な内容	学習のねらい
一 学 期	1 深まる学びへ 世界はうつくしいと (AB) 握手 (B) 意見を聞き、適切さを判断する 文法への扉1 「走って」いるのは誰? (A) 説得力のある構成を考えよう 言葉1 相手や場に応じた言葉遣い (AB) 学びて時にこれを知ふー「論語」から (AB) 2 視野を広げて 作られた「物語」を超えて (B) 思考のレッスン 具体化・抽象化 論理の展開を意識して書こう (B) 漢字1 熟語の読み方 3 言葉とともに 俳句の可能性 俳句を味わう (AB) 言葉の釣り糸を垂らす 言葉2 和語・漢語・外来語 (A) 書写 硬筆展覧会にむけて (A) 行書・行書と仮名の調和 読書生活を豊かに 「私の一冊」を探しにいこう 本の世界を広げよう	・表現上の工夫に注意して、筆者の自然に対する思いを捉え、自分の意見をもつ。 ・表現の工夫、設定の仕方などを捉え、作品を理解する。 ・人間や社会に対する自分の意見を持ち、作品を評価する。 ・説得力のある構成の仕方について確認する。 ・語句に関する知識を広げ、読んだり使ったりする。 ・筆者の論理の展開の仕方を捉えて評価する。 ・文章を読む際、具体と抽象の関係についてどのようなことに注意すべきかを確認する。 ・文の順序や構成の理解を深め、生活の中で生かす。 ・俳句を読み味わい、俳句の世界に親しみ、俳句を作る。 ・硬筆展覧会にむけての作品づくりに取り組む。 ・時間の経過により変化した言葉や世代による言葉の違いを理解し、分かりやすい説明になるように構成を工夫して書く。 ・和語・漢語・外来語の使い分けに注意し、語彙を豊かにする。 ・目的を持って本を読み、文章を評価し、考えを広げたり深めたりする。
二 学 期	4 状況の中で 挨拶一原爆の写真に寄せて (AB) 故郷 (B) 論理の展開を考える 言葉3 慣用句・ことわざ・故事成語 (A) 聞き上手になるう 漢字2 漢字の造語力 (A) 5 自らの考えを 複数の意見を読んで、考えよう 考えを効果的に伝えよう 文法への扉2 「ない」の違いがわからない? 聴きひたる 初恋 6 いにしえの心を受け継ぐ 和歌の世界 音読を楽しむ 古今和歌集 仮名序 (AB) 君待つと一万葉・古今・新古今 (AB) 夏草一「おくのほそ道」から (B) つながる古典/古典名作選 (AB) 7 価値を生み出す それでも、言葉を (AB) 漢字3 漢字のまとめ 話し合いを効果的に進めよう 合意形成にむけて話し合おう 本は世界への扉 書写 書きぞめ展覧会にむけて (A) 行書・行書と仮名の調和、身の回りの多様な文字	・表現や語句の効果に着目し、人間や社会について考える。 ・人間と社会との関わりについて考え、自分の意見を持ち、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。 ・慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。 ・漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、使うことができる。 ・詩の表現の工夫に注意し、社会などへの自分の考えを持つ。 ・「批判的に読む」ことは、どういうときに必要かを自分の意見を考える。 ・合意形成をするために必要なことを理解する。 ・冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。 ・歴史的な背景に注意し、昔の人の心情や情景を読み味わう。 ・歴史的背景を想像し作者の感じ方を読み取り、古典に親しむ。 ・古典作品についての文章を読み、考えを深め古典に親しむ。 ・筆者の主張を捉え、表現の仕方を評価し自分の考えを持つ。 ・社会生活で関心のある事柄を決め、説得力のある文章を書く。 ・二年までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。 ・目的を持って本を読み、知識を広げ自分の考えを深める。 ・書きぞめ展覧会にむけての作品作りに取り組む。 ・毛筆、文字の大きさ、字形、配列、行書の書き方を理解する。
三 学 期	8 未来へ向かって 温かいスーパ (B) アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで (AB) 三年間の歩みを振り返ろう (AB)	・現代社会の可能性や困難、生き方について考え、意見を持つ。 ・詩の語句の使い方に注意し、人間や社会について考える。 ・二年生までに学習した漢字に加え、その他の常用漢字を読み、適切に使い慣れる。 ・三年間の学びを振り返りながら、自分の考えを深め、構成を工夫してまとめる。